

人類動態学会 19期 第11回理事会

日時：2008年5月10日（土）13：00～15：00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席：植竹照雄、片岡洵子、小木和孝、小島龍平、酒井一博、中田英雄、平野和彦、堀野定雄、松田文子、松村秋芳、水野有希、森みどり、竹内由利子（幹事）

配布資料：	資料1	活動報告案、活動計画案	資料6	JHE 東南アジアとの関係の持ち方について
	資料2	決算案、予算案	資料7	43回大会（2008年）
	資料3	人類動態学会自己評価案	資料8	44回大会（2009年）
	資料4	選挙結果	資料9	その他（依頼事項）
	資料5	働態研究の方法	資料10	国際協力関連（IEA Newsletter）

\*\*\*\*\*

会員動向（下記を含め215名 前回理事会より3名減）

<退会> 5名 <入会> 2名

●審議事項

1. 6月の総会議題と内容

1) 活動報告案と活動計画案

- ・2007年度活動報告案と2008年度の活動計画案を審議し、原案の承認を得た。この案は、43回大会の総会資料とする。

2) 決算案と予算案

- ・2007年度決算案と2008年度予算案を審議し、原案の承認を得た。  
決算：久宗理事から42回大会の返金10万円があった。  
予算：東日本地方会と、西日本地方会の予算を各20万円とし、地方会の予算を40万とした。

3) 学会活動に関する自己評価

- ・総会で自己評価に関する資料を見てもらい、大会時に会員による自己評価を行こととした。また、HP上でも会員からの自己評価を募ることとした。なお、HPでの自己評価に関する締め切りは、夏休み明け（8月末）と設定した。
- ・自己評価の質問項目は、前年度と同じ項目で評価を行うこととした。

4) 開票結果

- ・得票順に上位20位まで（同票は、選挙管理委員会が優先順位を決定）の方に、理事就任依頼を早急に行う。
- ・理事は選挙20名、会長指名で理事5名の計25名、監査2名が選出される。
- ・43回大会時の理事会にて、新規会長、副会長、事務局を選出し、総会をもって決定する。

5) 「働態研究の方法」の募集に関する報告

- ・投稿に関するはがきを会員に送付し、事務局に返送が62通あった。
- ・内訳は追加投稿2名、執筆予定25名、現在執筆中2名、その他2名であり、これらが順調に集ま

れば、目標数（60 編前後）に近くなる。

#### 6) JHE と東南アジア人間工学会との関わり合いについて

- ・ 働態学会は東南アジア人間工学会（特に ASEAN）と共同で 20 年近く活動を行っているが、近年、ASEAN 諸国の国々が IEA に加盟し始めており、東南アジア人間工学会は解散して国ごとの活動に切り替わる方向で検討がすすんでいる。
- ・ 東南アジア人間工学会の解散後は JHE の共同刊行が難しく、地域ネットワークでの集金、送付先、編集委員の選任、責任の取り方、などの課題が発生する。この事態の説明に 11 月に開催予定の東南アジア人間工学会へ理事または編集委員の派遣を検討することとした。
- ・ 雑誌の定期刊行に努め、可能な限り、アジアだけではなくキーとなる大学や機関などに、雑誌を送ることで、JHE のステータスの向上に努める。
- ・ 36 巻 2 号からは名簿を確認して、新規の送付先も開拓する。東南アジア向けに 50 部程度送ることも検討。

#### 7) 43 回大会

- ・ 準備は順調にすすんでおり、会員への案内も行われている。
- ・ 予稿原稿の締め切り 5 月 19 日。予稿は会報に掲載し、大会前の発行を目指す。

#### 8) 44 回大会

- ・ 44 回大会は片岡日本女子体育大学教授を大会長として、2009 年 6 月中旬に東京で開催する予定。

#### 9) 名誉会員

- ・ 菊池安行さんから退会の申し出があったが、会長、JHE 編集委員長、第 1 回大会の開催など、創設以来、学会の発展に尽力された功績は顕著であることから、理事会としては名誉会員に推挙することとした。
- ・ 名誉会員の渡辺俊男さんと坂本弘さんが、逝去された。

#### 10) その他

人類働態学会の設立 40 周年にむけて

- ・ 設立 40 周年を迎えるにあたり、記念大会を行うことを検討する。
- ・ 記念大会は全国大会とは別に行うことを含め、20 期の検討課題とすることを決めた。

会報の冊子について

- ・ 会報 77 号以降の合本化についての要望があった。

### ●報告

#### 1. JHE

- ・ 36 巻 2 号が 5 月中に、37 巻 1 号（2007 年度分）が大会までに発行する予定。2008 年 12 月には 37 巻 2 号を発行する予定。今後は 6 月、12 月に定期刊行できるようにする。
- ・ 43 回大会の英文抄録の様式を JHE の発行形態に合わせるために、フォーマットを作成する。

#### 2. 国際交流

- ・ IEA（北京）の抄録締切が 2008 年 11 月 15 日、原稿締切は 2009 年 4 月 1 日との案内があった。
- ・ 中国では、台湾人間工学、香港人間工学があるが、今回はすべての組織が連携して IEA を開催する。日本人間工学会を 2002 年 IEA（ソウル）のように、中国でも開催してほしいとの依頼があった。

次回の理事会日程：2008年6月21日11時～ 沖縄キリスト教学院大学

以上